

## 近現代 15 軍部の台頭

### STEP1 センター対策

#### NO128 第一次世界大戦の開始から日中戦争の開始の時期 2003 追試

第一次世界大戦の開始から日中戦争の開始の時期に起こった出来事に関して述べたものの組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ア 政府内に南進論に加えて北進論も強まり、関東軍特種演習が実施された。
- イ 加藤高明内閣の外務大臣幣原喜重郎によって、協調外交が行われた。
- ウ 戦争協力体制を整えるために、大日本産業報国会が結成された。
- エ リットン報告書にもとづく勧告が採択されると、日本は国際連盟を脱退した。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

正解→関東軍特種演習は 1941 年。大日本産業報国会も 1940 年。正解→④

#### NO129 政商から財閥へ 2010 本試 年代整序

1880 年代後半から工場や鉱山の払下げを受けた政商は経営規模を拡大し、やがて財閥として発展したが、そのことに関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列しなさい。

- I 開拓使官有物払下げが批判を招き、中止された。
- II 前蔵相と三井財閥の幹部が、血盟団員に殺害された。
- III 三菱の岩崎弥太郎、台湾出兵の際に軍事輸送を請け負った。

正解→台湾出兵は 1874 年、開拓使官有物払下げ事件は 1881 年のことで明治十四年の政変を招いた。血盟団事件は 1932 年のこと、正解は III-I-II である。

#### NO130 斎藤実が首相在任中の出来事 2004 追試

斎藤実が首相在任中の出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 蒋介石が北伐を開始した。1926
- ② 日本政府は、日満議定書を締結して満州国を承認した。1932 年 9 月
- ③ 企画院が物資動員計画の策定を開始した。
- ④ 枢密院が設置された。

正解→斎藤実は 1932 年の、五・一五事件直後から 34 年 7 月まで在任。日満議定書が斎藤実内閣は暗記の定番、正解→②

#### NO131 1920 年代後半から 30 年代前半にかけての時期の商工業 2004 追試

1920 年代後半から 30 年代前半にかけての時期の商工業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 第一次世界大戦を契機に急成長した鈴木商店は、この時期破産した。
- ② 紡績会社が台湾に工場を設立するようになり、在華紡とよばれた。
- ③ 昭和恐慌の影響で、アメリカ市場向けの生糸輸出額が急増した。
- ④ 日本窒素（日窒）は、朝鮮進出に失敗して破綻した。

正解→鈴木商店は 1927 年の金融恐慌の時に倒産した。在華紡は 1910 年代に中国各地に建設された。アメリカ向けの生糸は昭和恐慌の影響で輸出が激減した。日窒は新興財閥として朝鮮半島で発展した。正解→①

#### NO132 軍部の台頭 2008 本試

1930 年代の軍部の行動に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列せよ。

- I 関東軍が、柳条湖で満鉄の線路を爆破した。
- II 陸軍の青年将校らが、部隊を率いて政府要人や重要施設を襲撃した。
- III 海軍の青年将校らが、犬養毅首相を射殺した。

正解→[I→III→II] 1. 第 2 次若槻内閣(民政党)の時、柳条湖事件(1931)から満州事変が始まった。3. 五・一五事件(1932)で犬養毅首相が暗殺されて、戦前の政党内閣は最後となった。2. 岡田内閣の時、陸軍皇道派の青年将校らにより二・二六事件(1936)が起こった。

#### NO133 1930 年代の思想 2012 本試

1920 年代に高まったデモクラシーの思想や社会運動は、1930 年代には思想統制や右翼運動の勃興により苦境に立たされたが、この時期の文化や学問の分野で活躍した人物について述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 小説『蟹工船』を著したこの人物は、徳永直らとともにプロレタリア文学の代表的な作家であった。
- Y この人物が説いた憲法学説は、1930 年代なかばに反国体的として軍部や右翼から排撃された。

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

- a 小林多喜二 b 横光利一 c 美濃部達吉 d 穂積八東

正解→小林多喜二はプロレタリア文学の代表的な作家で、1933 年に警察による拷問で殺害された。横光利一は新感覚派の中心的作家で、『日輪』が代表作。美濃部達吉は天皇機関説を『憲法撮要』などで主張したが、岡田啓介内閣の国体明徴声明で否定された。穂積八東は民法典論争。正解→③

#### NO134 立憲民政党の外交 2012 本試

立憲民政党を中心とした内閣が政権を担当していた時期の外交に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 海軍内部の反対意見をおさえて、ロンドン海軍軍縮条約を調印して、協調外交の基礎をつくった。
- b ワシントン海軍軍縮条約に調印して、協調外交の基礎をつくった。
- c 満州事変が起こると、不拡大の方針を決定したが、関東軍による戦線の拡大をおさえられなかった。
- d 満州事変を調査したリットン報告書にもとづく国際連盟の勧告を拒否して、連盟を脱退した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

## 武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

正解→

正解→所属する政党がわからないと解答できない問題だ。ロンドン海軍軍縮条約は協調外交の立憲民政党若槻礼次郎内閣である a は○。b のワシントン海軍軍縮条約を調印したのは高橋是清内閣である。高橋是清は立憲政友会だから ✕。満州事変時の内閣は若槻礼次郎だから○。d は斎藤実が海軍だから ✕。正解→①

### NO135 満州事変前後の出来事 2016 本試

満州事変前後の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び変えなさい。

- Ⅰ 犬養毅首相が海軍将校らに殺害された。
- Ⅱ 日中両軍の間で塘沽停戦協定が結ばれた。
- Ⅲ 金輸出を解禁し、金本位制に復帰した。

正解→金解禁が井上準之助蔵相のときである。五一五事件は1932年。丁寧な学習をしている生徒なら、塘沽が一番新しいことは、脊髓反射でわかる。正解→Ⅲ-Ⅰ-Ⅱだ。

### NO136 満州事変以降の政治・外交 2015A

満州事変以降の政治・外交に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 犬養毅内閣は、日満議定書を結んで「満州国」を承認した。
- ② 斎藤実内閣は、二・二六事件の責任をとって総辞職した。
- ③ 岡田啓介内閣は、ロンドン海軍軍縮条約を締結した。
- ④ 広田弘毅内閣は、日独防共協定を締結した。

正解→④

### NO137 軍部の政治への影響力 2003A 年代整序

年代の古い順に並び替えよ。

- Ⅰ 軍縮条約をめぐり、軍部が内閣を統帥権干犯であるとして攻撃した。
- Ⅱ 広田弘毅内閣が軍部大臣現役武官制を復活した。
- Ⅲ 海軍青年将校らが首相を射殺した五・一五事件が起こった。

正解→Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ